

昭和二十四年六月一日（選給省）別披承認雜誌第四五三號
昭和二十六年六月二十日（毎月一回發行）

哲學研究

第三十五卷 第三册

第四百一號

昭和二十六年六月二十五日發行

印度に於ける論證學の性格……………松尾義海

ヘーゲルに於ける人倫の成立……………岸畑豊
の過程（完）

危機神學の生成とその展開（承前）……………樋元和一

—近代前期フランス精神史論—

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために次の事業を行ふ
- (一) 毎月一回研究会を開く
- (二) 毎年公開講演會を開く
- (三) 毎月一回「哲學研究」を發行する
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく、委員は京都大學哲學科教官及び委員會において推薦した者に委嘱する
- 一、本會は會員組織とし、會員には資格の制限を設けない、學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することもできる
- 一、會員は會費として年八〇〇圓、又は半年四〇〇圓を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け、會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、本會規約の改正變更は委員會の決議による

京都哲學會役員

委員

有賀鐵太郎
 白井二尙
 上野照夫
 重澤俊郎
 下程勇吉
 島芳夫
 岡原太郎
 高田三郎
 武内義範
 田中美知太郎
 長尾雅人
 野田又夫
 松尾義海
 三村勉
 矢田部達郎
 山内得立
 井島勉

へられた形態よりも成立過程をより明瞭に反映するものとして興味深く感ぜられる。方法の確立と共に、人倫の體系化の基礎は全く完成した。「人倫の體系」に於ては、この方法によつて、今までヘーゲルが獲得した政治上、社會上、哲學上の豊富な知識と洞察とが體系に組織され、ドイツの一愛國者として、又哲學者としてのヘーゲルの根本的な問題は、この手記に於て一應の解決を見出したのである。祖國の危機に直面し、これに全人的に苦惱し、これの解決への暗中摸索の中から、かくして人倫の概念を中心として、ヘーゲルの哲學の獨自性の基礎も亦確立したといつても過言であるまい。

(完)

前 號 目 次

論 理 性……………	山 内 得 立
未開社會考……………	白 井 二 尙
道德的事實と社會的事實……………	島 芳 夫
『哲學研究』三十五年(癸未三十郎・高坂正顯・ 中井正一・服部英次郎・深淵久敏・井島 勉)	
別冊『哲學研究總目次』(自第一卷 至第三十四卷)	

(一七)「實際全くそれが生ずるに當つては想像又は所謂直觀的知性を理性又は結斷的知性と混同するやうな虚偽に向うでない」(Enimvero, dum ita faciunt, non advertunt fallaciam qua imaginationem seu, ut ita loquor, intuitivam intelligentiam cum ratione seu consecutiva intelligentia confundunt) cf. Syn., Phyl. Sect. I, L. IV, C. III, O. O., T. I, p. 261.

(一八)「然し吾々の中には直觀によらず推斷により、或るものを捉える別な知解がある。故に吾々は(實際觀察されない時には)論究の必然にもとづいて、あるべきであると判断するのである。」cf. loc. cit.,

執筆者紹介

松尾 義海

京都大學文學部(印度哲學史)
文學博士 助教授

岸 畑 豐

大阪大學教養部(倫理學) 講師

樋元 和一

大阪市立大
學家政學部(哲學・倫理學) 助教授

會 告

- 一、本會へ入會希望の方は京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會係宛に規定の會費をお拂込下さい
「振替口座京都一九五五八番 京都哲學會」
 - 一、前金切れの場合は帶封に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい
 - 一、會員の轉居入退會等（編集事務以外は一切）の事務は弘文堂内京都哲學會係へ御通知下さい
 - 一、本誌の編集に關する通信・新刊書寄贈雜誌等はすべて本會宛にお送り下さい
- 京都大學
文學部内 京都哲學會
-
- 一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下さい
 - 一、本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にてお送り下さい
 - 一、特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券八圓をお送り下さい

註 文 規 定

昭和二十六年 六月二十日印刷
昭和二十六年 六月廿五日發行

編 集 人 京 都 哲 學 會
京 都 大 學 文 學 部 内

右代表者

發 行 人 酒 井 明 勉
東 京 都 千 代 田 神 田 霞 河 路 四 〇

印 刷 所 鈴 鹿 幸 保
京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

印 刷 所 弘 文 堂 印 刷 部
京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

發 行 所 株 式 會 社 弘 文 堂
東 京 都 千 代 田 神 田 霞 河 路 四 〇

定 價		冊 數	定 價	郵 稅
一	冊			
六册(前金)	四百二十圓	一	七十圓	金六圓
三册(前金)	八百四十圓	一	七十圓	金三十六圓
		三册(前金)	八百四十圓	金七十二圓

(誌代の變更による會費の過不足は半年又は一年毎に精算いたします)

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XXXV

June, 1951

No. 3

Characteristics of the Science of Reasoning in India Gikai Matsuo

Genesis of the Concept of 'Sittlichkeit' in Hegel Yutaka Kishihata

*Origin of the Theology of Crisis and its Development:
an Inquiry into the History of French Mind during
the first Half of Modern Times*..... Waichi Himoto

Published Monthly

By

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan